NIE実践報告

1．タイトル：**卒業論文**

2．学校名

長崎県立佐世保北中学校

3．実践者名（代表者名）

荒木 健輔(第3学年「総合的な学習の時間」担当)

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　119人

6．単元（本時の学習課題）名

卒業論文

7．目標(狙い)

中高一貫校の特長を生かし、3年間の「総合的な学習の時間」の総まとめとして、卒業論文(4000字程度)に取り組み発表することで、自己統制力の育成を図る。

8．評価の視点

自分で設定したテーマにもとづいた新聞や書籍などの資料を活用し、考察・分析を図っているか。それを受けて論文形式でまとめ、分かりやすく発表することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合的な学習の時間(12時間)と冬季休業中に自主的な活動

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

本校では総合的な学習の時間のテーマとして、一年生で「調べる」、二年生で「発表する」を設定している。三年生では、「討論する」を設定し、ディベートなどを行いながら中高一貫校の教育の特長を生かし、その総まとめとして全生徒が4000字程度の卒業論文の制作に取り組んでいる。

①4月　卒業論文執筆のための読書・調査(1時間)
②10月　卒業論文の書き方、調査・研究の基本を学ぶ(1時間)
③11月　卒業論文の調査・研究(2時間)。　基礎調べに新聞やインターネットなどで調査
④冬季休業中　卒業論文の調査・研究および下書き
調査・研究を基に、自由な発想で論理を構成し論文をまとめあげる。
⑤1月　卒業論文の内容の修正、清書(3時間)
⑥2月　卒業論文の清書・論旨の作成(2時間)
クラスごとに全員による発表会の実施、自己評価(3時間)
⑦3月　各クラスの代表9人が三学期に全体発表会で生徒や保護者を前に成果を発表

11．児童・生徒の反応、感想・意見

卒業論文を作成したり、友人の発表を聞いたりすることで、「一つの研究をするのは大変な労力を要するものだと実感した」、「研究する姿勢を学ぶことができた」、「全体発表会で発表した人は難しい内容を分かりやすくかみくだき、構成がよく考えてあった」などの感想があった。全員が時間をかけ真剣に取り組んだので、内容の濃い論文が多かった。

12．成果と課題

卒業論文にNIE活動を導入したことにより、研究や論文の内容に深みが増し、一冊の本やインターネットから簡単に得られる偏った情報のみを活用することが減少した。また、情報の信憑性を考えていく力が身に付いた。今後は、新聞の多様性を生かし、日常的にＮＩＥ活動を取り入れる工夫を考えながら、「各教科」、「総合的な学習の時間」などとも連携した系統的な指導方法を考えていきたい。

また、学校生活における日常の生徒のNIEの取り組みに重点を置き、更に生徒自身が積極的に課題解決に取り組むことで、自己統制力の育成を図っていきたい。